

**6**  
Rd.

SEP 2015

平成27年9月30日発行

**RACING**  
**PRESS**  
*apan*

**SUPER GT ROUND 6**  
**SUGO**



Super GT  
Series 2015

GT

Round 6  
SUGO

9/19-20



Text

鳥村元子

Editor

吉川絹恵

Photo

鉄谷康博

中村佳史

北川正明

Cover Photo

鉄谷康博

Nakamura

# SUPER GTシリーズも、いよいよ終盤戦!

今シーズンもいよいよ終盤に向けての戦いを迎えることになったSUPER GT。第6戦は社の都・仙台にほど近いスポーツランドSUGO。中低速コーナーの複合コースはアップダウンに富み、難コースとして知られる。また展開が荒れることも多く、“魔物が棲む”とも言われる。そして今年もまた決勝で様々なドラマが繰り広げられることになった。



GT500



GT300



tetsu

Nakamura

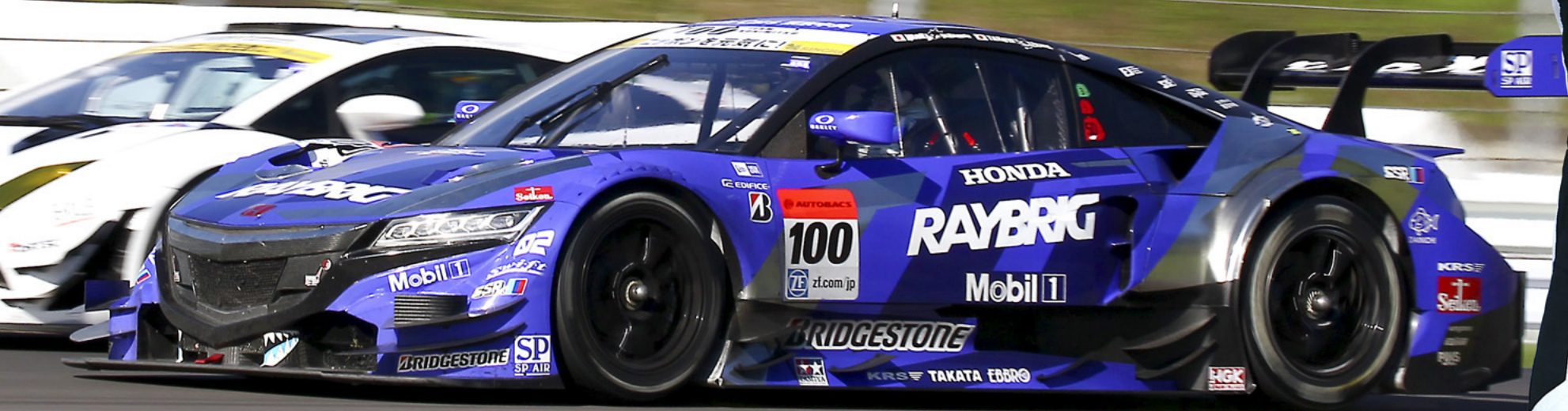
tetsu

# RAYBRIG NSX CONCEPT-GT、涙の勝利!

予選2番手からスタートを切ったNo.100 RAYBRIG NSX CONCEPT-GT (山本尚貴/伊沢拓也組)が混乱の中から頭ひとつ抜け出して好走。今シーズン、再コンビで挑んだ戦いで待ちわびた優勝を手にし、ドライバーズランキングでも2番手にジャンプアップした。

初秋の穏やかな天候に恵まれたSUGO。しかし気温、路面温度とも予想以上に数値が向上。軽く汗ばむようなコンディションで予選が行われた。ウェイトハンディによって燃料リストラクターは絞られる一方で50kg分を軽減可能なチームにとって、メインストレートが短いSUGOは比較的に有利なコースとなる。その中で底力を見せたのが、No.46 S Road MOLA GT-R (本山 哲/柳田真孝組)。チャンピオン経験を持つ本山が見事なアタックを披露、今季初となるポールポジションを手にした。

迎えた決勝。強い日差しが照りつける中、午後2時にレースがスタート。極めてクリーンなオープニングラップとなるも、すぐに周回遅れの車両が出始め混戦が徐々に激しくなる。その中でポールスタートの46号車は一時トップを独走、だがレース中盤の前にGT500の2台が絡み、うち1台がガードレールにヒット、クラッシュするアクシデントが発生。これを機にセーフティカーランとなり、加えてピットインのタイミングがほぼ全車重なって大渋滞が発生。ピット位置によって各チームで明暗が分かれた。46号車はその後もしばらくトップを堅持するも、その背後にはSCランで差を詰めた100号車が、勢いよく攻め立てる100号車は、緩急を突いた走りでも46号車を逆転!そのまま逃げ切った100号車がコンビによる初優勝、そしてチームとして2年ぶりの勝利を達成することとなった。



## GT500



2nd



3rd



ピットロードも  
大混乱!

### GT500決勝結果

|     |        |                          |                    |     |
|-----|--------|--------------------------|--------------------|-----|
| 1位  | No.100 | RAYBRIG NSX CONCEPT-GT   | 山本尚貴 / 伊沢拓也        | 81周 |
| 2位  | No.46  | S Road MOLA GT-R         | 本山 哲 / 柳田真孝        | 81周 |
| 3位  | No.24  | D'station ADVAN GT-R     | 佐々木大樹 / ミハエル・クルム   | 81周 |
| 4位  | No.6   | ENEOS SUSTINA RC F       | 大嶋和也 / 国本雄資        | 81周 |
| 5位  | No.19  | WedsSport ADVAN RC F     | 脇阪寿一 / 関口雄飛        | 81周 |
| 6位  | No.1   | MOTUL AUTECH GT-R        | 松田次生 / ロニー・クインタレッリ | 81周 |
| 7位  | No.15  | ドラゴ モデューロ NSX CONCEPT-GT | 小暮卓史 / O-ターベ       | 81周 |
| 8位  | No.17  | KEIHIN NSX CONCEPT-GT    | 塚越広大 / 武藤英紀        | 81周 |
| 9位  | No.37  | KeePer TOM'S RC F        | A.カルダレッリ / 平川 亮    | 80周 |
| 10位 | No.38  | ZENT CERUMO RC F         | 立川祐路 / 石浦宏明        | 79周 |
| 11位 | No.12  | カルソニック IMPUL GT-R        | 安田裕信 / J.P.デ・オリベイラ | 78周 |
| 12位 | No.8   | ARTA NSX CONCEPT-GT      | 松浦孝亮 / 野尻智紀        | 75周 |
| 13位 | No.36  | PETRONAS TOM'S RC F      | 伊藤大輔 / ジェームス・ロスター  | 71周 |
|     | No.39  | DENSO KOBELCO SARD RC F  | 平手晃平 / ハイキ・コバライネン  | 25周 |
|     | No.64  | Epson NSX CONCEPT-GT     | 中嶋大祐 / ヘルマン・バゲット   | 25周 |

# マザーシャシー待望の1勝!

GT300 クラスは、ウェイトにも負けぬ速さを見せたNo.55 ARTA CR-Z GT (高木真一 / 小林崇志組) がポールポジションからスタートを切ったが、予選2番手のNo.25 VivaC 86 MC(土屋武士 / 松井孝允組) が序盤に逆転。レースは25号車と予選3番手のNo.31 TOYOTA PRIUS apr GT (嵯峨宏紀 / 中山雄一組) による攻防戦となった。だが、ウェイトで負荷の大きい31号車が次第に後退。逆に安定した速さで周回を重ねた25号車は、SCランをも味方につけてレースを掌握。後半には後続に17秒近い差をつける走りを見せ、初優勝を実現。同時に参戦初年度のマザーシャシーにとって待望の一勝ともなった。



GT300



tetsu



2nd

tetsu



3rd

tetsu



tetsu



### GT300決勝結果

|     |        |                          |                   |     |
|-----|--------|--------------------------|-------------------|-----|
| 1位  | No.25  | VivaC 86 MC              | 土屋武士 / 松井孝允       | 75周 |
| 2位  | No.31  | TOYOTA PRIUS apr GT      | 嵯峨宏紀 / 中山雄一       | 75周 |
| 3位  | No.11  | GAINER TANAX SLS         | 平中克幸 / ビヨン・ビルドハイム | 75周 |
| 4位  | No.88  | マネバランボルギーニGT3            | 織戸 学 / 平峰一貴       | 75周 |
| 5位  | No.61  | SUBARU BRZ R&D SPORT     | 井口卓人 / 山内英輝       | 75周 |
| 6位  | No.10  | GAINER TANAX GT-R        | アンドレ・クート / 富田竜一郎  | 75周 |
| 7位  | No.65  | LEON SLS                 | 黒澤治樹 / 蒲生尚弥       | 75周 |
| 8位  | No.3   | B-MAX NDDP GT-R          | 星野一樹 / 高星明誠       | 75周 |
| 9位  | No.51  | JMS LMcorsa Z4           | 新田守男 / 脇阪薫一       | 75周 |
| 10位 | No.22  | グリーンテック SLS AMG GT3      | 和田 久 / 城内政樹       | 75周 |
| 11位 | No.77  | ケースフロントティア Direction 458 | 横溝直輝 / 峰尾恭輔       | 75周 |
| 12位 | No.55  | ARTA CR-Z GT             | 高木真一 / 小林崇志       | 74周 |
| 13位 | No.21  | Audi R8 LMS Ultra        | リチャード・ライアン / 藤井誠暢 | 74周 |
| 14位 | No.111 | Rn-SPORTS GAINER SLS     | 植田正幸 / 鶴田和弥       | 74周 |
| 15位 | No.18  | UPGARAGE BANDO H 86      | 中山友貴 / 佐々木孝太      | 74周 |
| 16位 | No.0   | グッドスマイル初音ミクスLS           | 谷口信輝 / 片岡龍也       | 74周 |
| 17位 | No.33  | Excellence Porsche       | 坂本祐也 / 山下健太       | 74周 |
| 18位 | No.87  | クリスタルクロコ ランボルギーニ GT3     | 青木孝行 / 佐藤公哉       | 74周 |
| 19位 | No.7   | Studie BMW Z4            | ヨルグ・ミュラー / 荒 聖治   | 74周 |
| 20位 | No.50  | SKT EXE SLS              | 加納政樹 / 安岡秀徒       | 73周 |
| 21位 | No.48  | DIJON Racing GT-R        | 高森博士 / 田中勝輝       | 73周 |
| 22位 | No.60  | SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 | 飯田 章 / 吉本大樹       | 72周 |
| 23位 | No.9   | PACIFIC マクラーレン with μ's  | 白坂卓也 / 阪口良平       | 72周 |
| 24位 | No.30  | NetMove GT-R             | 小泉洋史 / 岩崎祐貴       | 67周 |
|     | No.2   | シンティアム・アップル・ロータス         | 高橋一穂 / 加藤寛規       | 45周 |
|     | No.360 | RUNUP Group&DOES GT-R    | 吉田広樹 / 成澤正人       | 9周  |

# POLE POSITION

## No.46 S Road MOLA GT-R

Text : Motoko Shimamura Photo : Yasuhiro Tetsutani

### ベテラン本山がみせた会心の走り

秋晴れに恵まれた第6戦スポーツランドSUGO。思いのほか日差しが強くなり、午後からの予選では朝の公式練習とはまた異なるコンディションでのアタックを強いられることになった。アップダウンの多いSUGOのコースを考慮すると、これまでの獲得ポイントに合わせて搭載されるハンディウエイトは、まさにポディブローのようなもの。その中でタイヤをうまく使ったアタックを見せたのがNo.46 S Road MOLA GT-Rの本山哲。チャンピオン経験あるベテラドライバ―が見せた会心のアタックラップにより、シーズン初ポールを手にすることとなった。

